



本康歯科ニュース



世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！と思ってもらえる歯科医院めざして！

学校歯科健康診断・・・要観察歯（CO）の検出基準について

皆さんお子様の学校の歯科健康診断で「CO(シーオー)」って言われた事ありませんか？

視診にて明らかなう窩は確認できないが、う蝕の初期病変の徴候（白濁、白斑、褐色斑）が認められ、放置すると歯に進行すると考えられる歯である。状態を継続的に注意深く観察する必要がある歯で記号COを用いる。

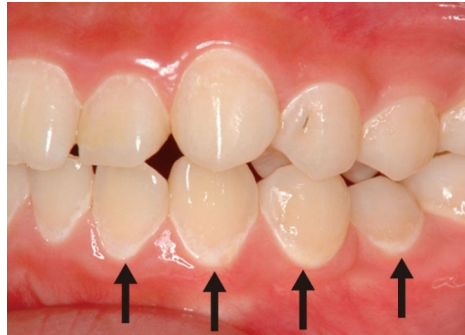
ア. 実質欠損は認められないが褐色、黒色などの着色や白濁の認められるもの

イ. 平滑面において脱灰を疑うような白濁や褐色斑等が認められるが、エナメル質の実質欠損（う窩）の確認が明らかでないもの

ウ.例えば隣接面や修復物下部の着色変化、アやイの状態が多数認められる場合等、地域の歯科医療との連携が必要な場合が該当する。

簡単に言い換えると

「目で見て実質欠損がないこと」これがCOの前提条件となり、その上で「黒い」「白い」「怪しい」これがCOです。



歯とお口に
まつわる歴史

デンタルヒストリア

“電動歯ブラシ”はもともと手の不自由な方のために作られた？

皆さんは、**電動歯ブラシ**を使用していますか？ 昨今では、ブラシがクルクル回転したり、超音波で汚れを落としたりと、さまざまな電動歯ブラシが売られていますが、もともと電動歯ブラシは**手の不自由な方のために誕生しました**。1961年、**アメリカ**で歯を上手くみがくことが難しい**障がい者**などに向けて**開発**された電動歯ブラシは、その後一般向けにも製造され、**日本でも1990年代より普及**がスタートしました。電動歯ブラシは便利ですが、**正しく使用しないとみがき残しが出てしまいます**のでご注意くださいね。

